

平成 30 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修への参加報告

フィールド科学系部門 塩路 恒生

1. はじめに（目的）

技術職員の職務遂行に必要な基本的、一般的知識及び新たな専門知識、技術等を習得させ、職員としての資質の向上を図ることを目的とし本研修に参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 30 年 8 月 29 日（木）から平成 30 年 8 月 31 日（金） 3 日間

場所：岡山大学津島キャンパス（〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中 1-1-1）

3. 参加者等

受講者：中国・四国地区技術職員 48 名

4. 研修内容

1 日目は、全体講義として「肺移植で助かる命」岡山大学病院臓器移植センター 大藤剛宏教授、「100 年に 1 度の雨とは？」岡山大学環境生命科学研究科 近森秀高教授、「体内時計：生物が時間を知る仕組み」岡山大学自然科学研究科 富岡憲治教授の 3 件の講義があった。2 日目は分野別講義・実習として、農学分野実習 III A「園芸作物（果樹・野菜）の栽培管理（初級者コース）を受講した。その後、全体としての情報交換会に出席した。3 日目は、全体講義として「感染症国際展

開戦略プログラムに関して」岡山大学医歯薬学総合研究科 三好伸一教授、「科研費等外部資金の申請について」岡山大学総務・企画部 後藤博明部長の2件の講義があった。

5. まとめと感想

全体講義では、今回は生物・生命系分野の内容が多くあり、非常に興味深く聴講することができた。また、3日目の科研費に関する講義では、奨励研究等の申請に参考になる貴重な情報を多く頂き、これは今後の研究活動に大いに役立つものとする。この内容については、技術センター内において、どんどん情報を展開していきたい。2日目の分野別研修では、私は多少なりとも普段の業務で農作業を行っているため経験者コースでもよかったのだが、未経験者に、どのように教えるのかという「教え方」に興味があり、今回はあえて初心者コースを受講した。受講中は、担当者の方々と多くの質問、会話をすることができ、普段ではとうてい得る事のできない技術的な情報をたくさん教えていただき、非常に有意義な時間を過ごすことが出来た。また、情報交換会を含め研修中に他大学の技術職員と多くの交流をもてたのは、大きな収穫であった。